

明石市コミュニティバス(たこバス)の 運行について

— 内 容 —

【報告事項】

- 1.たこバス運行の経緯
- 2.たこバスの利用状況

【協議事項】

- 1.たこバス バス停の新設について
- 2.たこバス運行事業者の一部変更について

報告事項

【報告事項】

1.たこバスの運行の経緯

年	月	内容
H16	11	交通不便地域の縮減や移動制約者の移動手段の確保等を目指し、社会実験運行を開始【2ルート】
H18	4	本格運行を開始【3ルート】
H19	5	明石市総合交通計画 策定（交通ネットワークを構築する交通手段として位置付け、見直し基準の設定）
	11	路線拡大運行（目標利用者100万人/年）【17ルート】
H21	3	利用が低迷していた1ルートを廃止【16ルート】
H25	3	明石市総合交通計画 改定（「コミュニティバスの展開方針」を定め、それに則ってPDCAを実行）
H26	3	初の年間利用者100万人達成（以後継続して目標達成）
	4	利用が低迷していた2ルートを1ルートに縮小【15ルート】
H31	3	年間利用者約112万人（過去最高）
H31	4	寿優待制度拡充

【報告事項】

2.たこバスの利用状況①

利用者数

- 平成30年度の利用者数は6年連続目標の100万人/年を達成し、過去最高の約112万人/年となりました。今年度は、寿優待制度が拡充され、さらなる利用者の増加が見込まれます。

運行補助金

- 運行補助金は、利用者の増加により、運賃収入は約60万円増加したものの、燃料費の高騰などで、運行経費が約200万円増加し、補助金は約140万円増の、約1億5,550万円となりました。

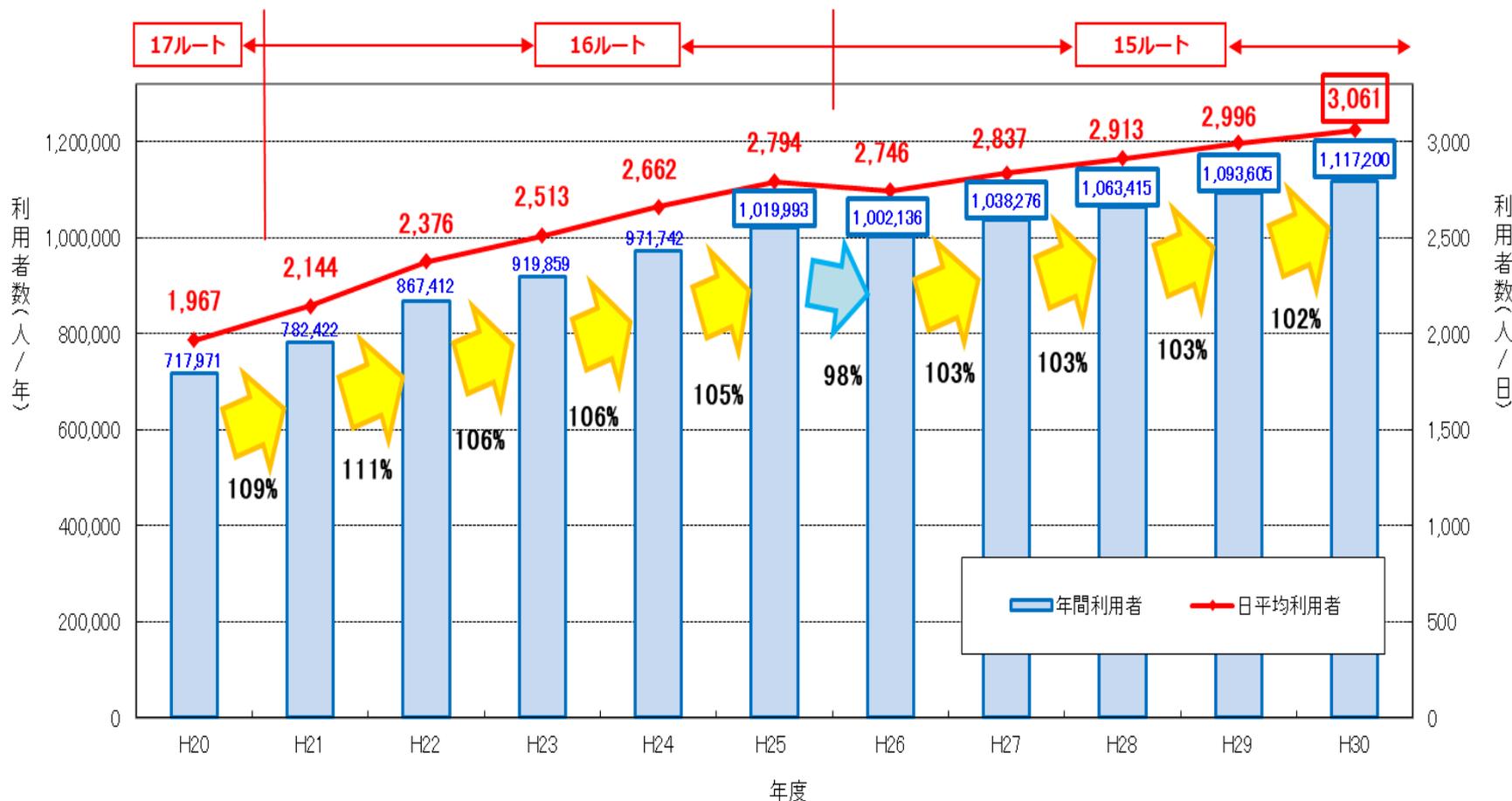
	①平成29年度	②平成30年度	増減 (②-①)	増減率 (②/①-1)
利用者数 (人/年)	1,093,605	1,117,200	23,595	2.2%
運行経費 (千円)	230,736	232,796	2,060	4.6%
運行収入 (千円)	76,629	77,265	636	2.0%
運行補助金 (千円)	154,106	155,531	1,424	8.3%

※四捨五入により、一部誤差が生じています。

【報告事項】

2.たこバスの利用状況②

年度毎の利用者数の推移



【報告事項】

2.たこバスの利用状況③

H29年度とH30年度の利用者数等の比較

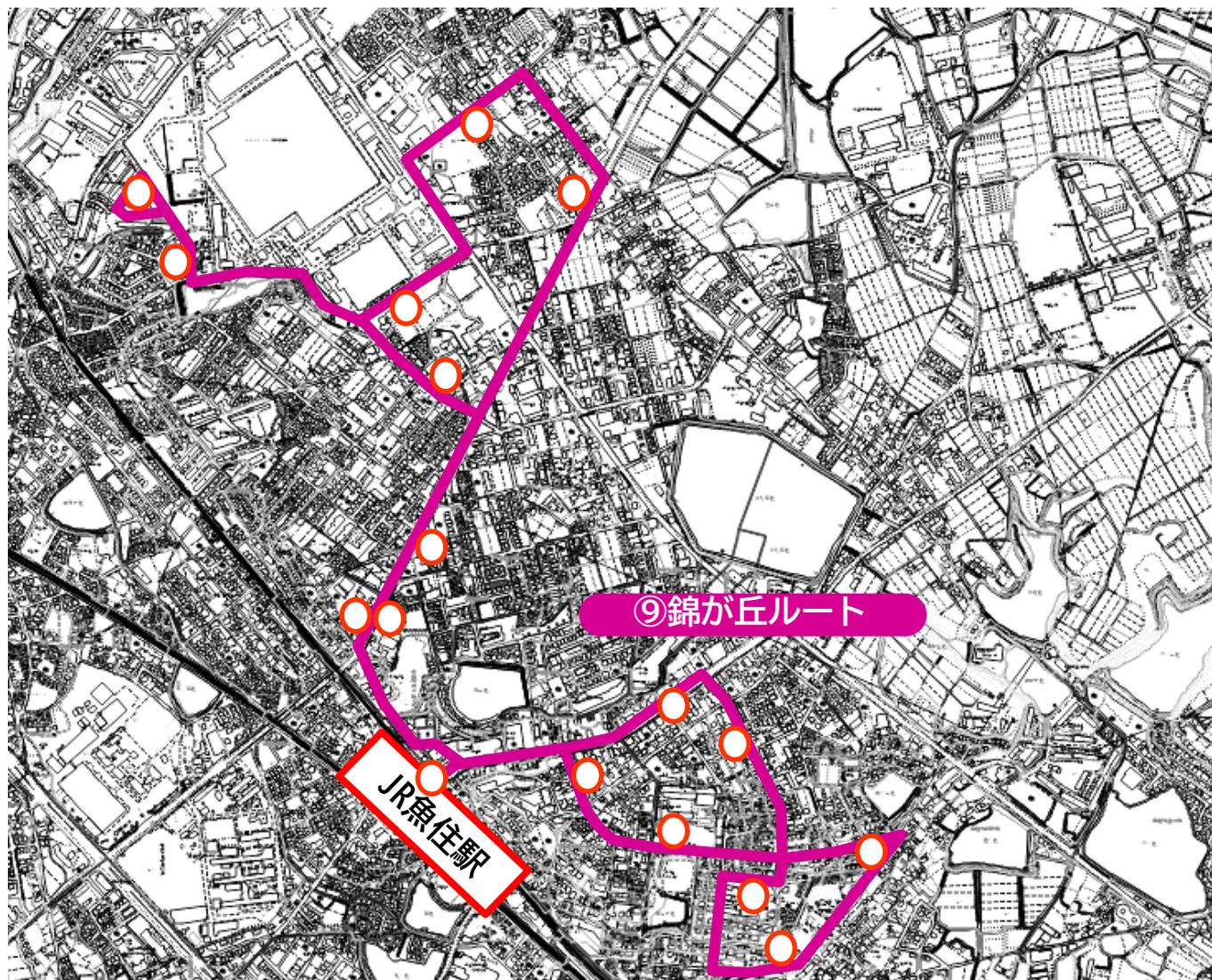
ルート名		運行事業者	利用者数 (人/年)				利用者数 (人/日)			収支率 【みなし値】 (%)		
			H29	H30	増減人数	伸び率	H29	H30	H30-H29	H29	H30	
T a c o バス	①	西明石北	神姫バス	83,323	89,350	6,027	1.07	228	245	17	58.7%	59.8%
	②	西明石南		87,173	92,458	5,285	1.06	239	253	14	40.0%	40.3%
	⑤	谷八木		97,164	100,149	2,985	1.03	266	274	8	60.7%	59.4%
	⑥	江井ヶ島		113,085	119,491	6,406	1.06	310	327	17	65.1%	63.2%
	⑩	青葉台	山陽バス	98,861	95,402	-3,459	0.97	271	261	-10	99.1%	87.9%
	⑪	清水		73,490	73,771	281	1.00	201	202	1	90.6%	96.3%
	⑦	西江井ヶ島		77,202	76,586	-616	0.99	212	210	-2	48.7%	48.4%
	⑫	西岡東		86,582	86,071	-511	0.99	237	236	-1	32.7%	31.4%
	⑮	二見		94,000	95,934	1,934	1.02	258	263	5	46.9%	47.0%
T a c o バスミニ	③	松陰	明正キャブ	46,504	45,920	-584	0.99	127	126	-1	33.2%	30.2%
	④	大久保南		68,350	69,167	817	1.01	187	189	2	65.1%	60.6%
	⑧	金ヶ崎	明石タクシー	55,185	52,588	-2,597	0.95	151	144	-7	56.7%	53.2%
	⑨	錦が丘		45,949	49,576	3,627	1.08	126	136	10	36.1%	38.3%
	⑬	西岡西	ルミナスタクシー	26,117	29,032	2,915	1.11	72	80	8	26.4%	30.2%
	⑭	清水西		40,620	41,705	1,085	1.03	111	114	3	24.4%	25.3%
小計 (T a c o バス)			810,880	829,212	18,332	1.02	2,222	2,272	50	54.1%	53.2%	
小計 (T a c o バスミニ)			282,725	287,988	5,263	1.02	775	789	14	38.4%	38.1%	
合計			1,093,605	1,117,200	23,595	1.02	2,996	3,061	65	49.0%	48.3%	
合計値の差 (H30-H29)			23,595人/年増				65.人/日増			0.7%減		

※収支率『みなし値』：(ルート別年間利用者数×100円÷1.08)÷ルート別運行経費(減価償却費除く)

協議事項

【協議事項1】

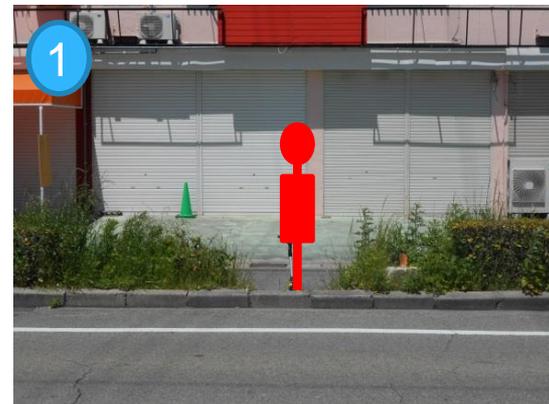
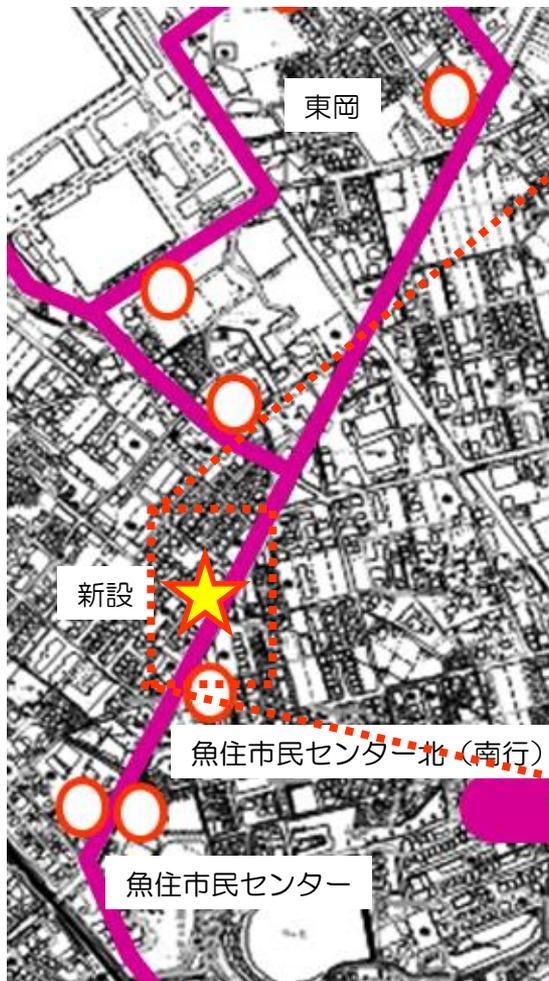
1.たこバスバス停の新設について①



【協議事項1】

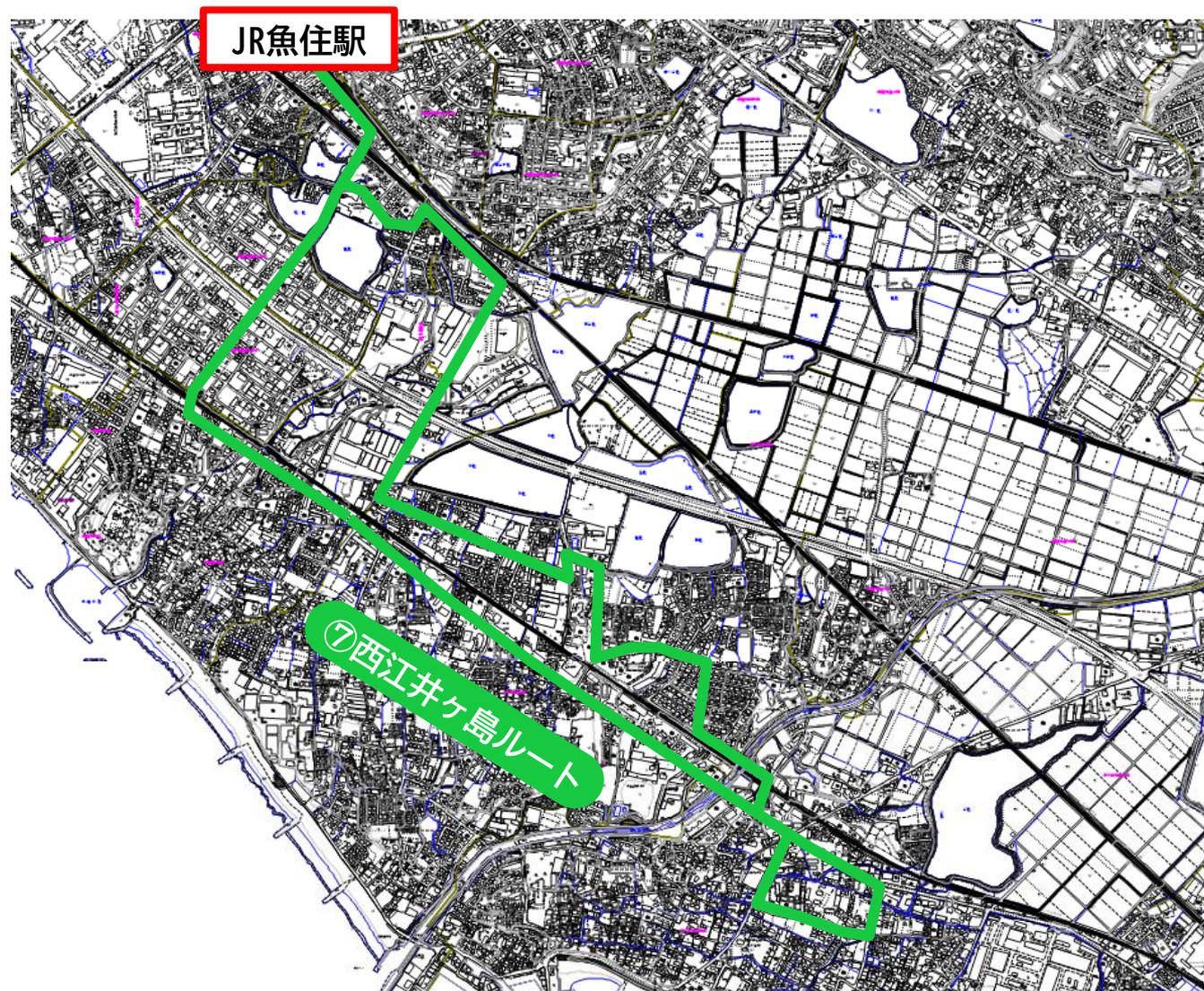
1.たこバスバス停の新設について②

【錦が丘ルート】 魚住市民センター、東岡間にバス停（北行）を新設します。



【協議事項2】

1.たこバス運行事業者の一部変更について①



【協議事項2】

1.たこバス運行事業者の一部変更について②

【たこバス運行事業者の一部変更（事務局案）】

- 以下のとおり、2020年4月より、山陽バス運行の西江井ヶ島ルートについて、事業者を変更して運行します。

ルート名	運行事業者 (2020年4月～)
西江井ヶ島	明正キャブ(株)

【協議事項2】

1.たこバス運行事業者の一部変更について③

【運行事業者の一部変更に至る経緯①】

4月1日 山陽バス(株)運行の5ルート中4ルートを明正キャブとルナスクターに引継ぎ

9月2日 山陽バス(株)より、西江井ヶ島ルートの継続困難の申し入れを受理

運行の継続困難な理由

- 運転手不足およびそれに起因して人件費が高騰している。
- 営業所（垂水区）から営業路線（魚住地区）までの車両回送など非効率な運行形態となっている。
- 山陽バス全体での利用者が伸び悩む一方で、人件費、燃料費等が高騰する厳しい状況にあり、西江井ヶ島ルートの運行が維持できなくなっている。
- 上記の理由により、運行を継続するためには大幅な運行経費の増額が必要であるが、入札時の単価を引き継いでいるため運行継続が困難。

【協議事項2】

1.たこバス運行事業者の一部変更について④

【運行事業者の一部変更に至る経緯②】

山陽バス運行路線を引き継ぐ事業者に必要な条件

【条件1】 サービス水準の維持

- ・西江井ヶ島ルートは、76,586人/年、210人/日の利用があり、市民に定着した交通手段であるため、ルートを廃止することはできないうえ、車両や便数など現状のサービス水準を維持する必要がある。

【条件2】 運行の安全性の確保

- ・運行の安全性を確保する必要がある。

【条件3】 ルートのスムーズな引き継ぎ

- ・2020年4月よりルートを引き継いで運行する必要がある。

上記の条件を満たすためには、明石市内でバス路線を運行している実績のある事業者（たこバス運行事業者）の中より引き継ぐ事業者を選定する必要がある。

【参考】

地方自治法施行令（随意契約）第167条の2第5項「緊急の必要により競争入札に付することができないとき」を準用

【協議事項2】

1.たこバス運行事業者の一部変更について⑤

【運行事業者の一部変更に至る経緯③】

11月6日 たこバス運行事業者に西江井ヶ島ルートの引継ぎ意向および見積徴取

結果

神姫バス(株)	意向なし
山陽バス(株)	意向なし
明正キャブ(株)	意向あり（見積提出あり）
明石タクシー(株)	意向なし
ルミナスタクシー(株)	意向なし

【協議事項2】

1.たこバス運行事業者の一部変更について⑥

【たこバス運行事業者の一部変更について（事務局案）】

- 意向調査および見積徴収の結果をふまえ、山陽バスが2020年3月末に西江井ヶ島ルートを休止し、明正キャブ(株)が路線を引き継ぐことで合意しました。

ルート名	運行事業者 (2020年4月～)
西江井ヶ島	明正キャブ(株)

【協議事項2】

1.たこバス運行事業者の一部変更について⑦

【今後の運行事業者の一部変更に係る主なスケジュール（事務局案）】

2019年12月	明正キャブ(株)	西江井ヶ島ルート of 路線延長の届出を神戸運輸監理部へ提出
2019年12月	明石市	明石市議会へ報告
2020年 3月	明正キャブ(株)	運行事業者変更路線の覚書締結
2020年 4月	明正キャブ(株)	運行事業者変更路線の営業運行開始